



発行所  
財団法人兵庫県消防協会  
神戸市中央区下山手通 4 丁目16番3号  
編集発行人 関 山 巧  
定価 1 部44円  
題字 井 戸 知 事

火のしまつ  
君がしなくて  
誰がする

## 平成二〇年度理事会・代議員会開催

### 兵庫県消防協会

平成二〇年五月二〇日(火) クラウンプラザ神戸において兵庫県  
消防協会理事会・代議員会が開催されました。  
理事会・代議員会の主な議案は次のとおりです。

#### 第一号議案

平成十九年度兵庫県消防協会  
事業報告及び収支決算承認につ  
いて

#### ◎事業の実施状況

- ・ 会議の開催
- ・ 防火思想の普及事業
- ・ 機関紙の発行事業



平成20年度理事会・代議委員会

#### ◎決算の状況

収入額 四〇、〇九〇、四五八 円  
支出額 三九、七七六、二二四 円  
収支差額 三二四、二三四 円

#### 報告事項

- ・ 平成二〇年度兵庫県消防協会事業計画及び同収支予算について
- ・ 役員等の異動について
- ・ 第二回兵庫県消防操法大会の開催について
- ・ 殉職消防職団員追悼のつどいについて
- ・ 平成二〇年度消防団員研修の参加について
- ・ 「ひょうご消防のつどい二〇〇八」の開催について

## 平成二〇年春の褒章

平成二〇年春の褒章が四月二十九日  
(昭和の日) に発令されました。

消防団員として永年にわたり  
消防防災活動に献身的に努力し、  
消防の発展に大きく寄与した方々  
に授与される藍綬褒章は全国で  
六三名、うち兵庫県では、消防  
団員二名が受章の栄誉に輝きま  
した。

伝達式は、五月十六日(金)

東京の虎ノ門パストラルホテル  
で執り行われ、消防庁長官から  
代表者に褒章が伝達されました。

### 消防団国際会議

#### 兵庫県視察

世界十一カ国の消防団関係者  
が一堂に会し、消防団の益々の  
発展と、国際的な連携、友好交  
流の充実を図るため開催された  
消防団国際会議(平成二〇年五  
月十三日(十八日)の一環とし  
て、五月十六日阪神・淡路大震  
災の被災地である兵庫県への視  
察が行われました。

人と防災未来センターの見学  
の後、神戸市灘消防団女性消防  
団員によるポンプ操法や稲美町  
消防団の多機能型消防車両が披  
露されると参加者からは大きな  
拍手が巻き起こり、兵庫県への  
視察は盛会のうちに幕をとじま  
した。



心肺蘇生法の実演

## 「兵庫消防」地区通信員会議開催

平成二〇年四月二十五日(金)  
に第二六回「兵庫消防」地区通  
信員会議を兵庫県災害対策セン  
ター会議室で開催しました。

編集部といたしましても、皆  
様から親しまれる「兵庫消防」  
を作成していきたいと思ってお  
りますので、ご協力をお願いし  
ます。

本年度の地区通信員の方々を  
ご紹介します。

○神戸地区

(敬称略)

○阪神地区

○東播磨地区

○中播磨地区

○姫路市消防局

○加古川市消防本部

黒田 和成

○伊丹市消防局

山本三人次

○神戸市消防局

藤森 栄二

○加古川市消防本部

黒田 和成

○姫路市消防局

慶尾 靖雄

○加古川市消防本部

山本 臣一

○消防正監

(敬称略)

○加古川市消防本部

山本 臣一

○加古川市消防本部

山本 臣一

○加古川市消防本部

山本 臣一

○加古川市消防本部

山本 臣一

○加古川市消防本部

山本 臣一

○加古川市消防本部

山本 臣一

○加古川市消防本部

山本 臣一

○加古川市消防本部

山本 臣一



代表受領

平成二〇年度兵庫県功労者表  
彰式が五月二〇日(火)に兵庫  
県公館で執り行われ、六名の消  
防関係の方々を受賞しました。  
なお、受賞者は、次のとおり  
です。

◎防災・消防功労(消防関係者)  
宝塚市消防団 団 長 古 東 宏之  
加古川市消防団 団 長 後 藤 政義  
朝来市消防団 団 長 金 田 正夫  
香美町消防団 団 長 本 城 繁信  
淡路市消防団 団 長 井 筒 良夫

また、兵庫県消防協会イメー  
ジキャラクター「消太くん」の  
イラストも公開していますので  
ご自由にお使いください。

まだまだ、修行不足のホーム  
ページですが、「消防団協力事  
業所表示制度」のページも新設  
し、今後ますますパワーアップ  
していく予定ですので皆様のご  
協力をお願いします。

なお、当ホームページに関す  
るお問い合わせは消防課までお  
願います。

こんにちは！  
ひょうごの消防団です  
二〇万アクセス突破

当協会が開設している、ホー  
ムページ「こんにちは！ひょう  
ごの消防団です」が二〇万アク  
セスを突破しました。

「こんにちは！ひょうごの消  
防団です」は兵庫県内の各消防  
団からの情報発信源として開設  
され、現在は約七割の消防団が  
独自のページを持っています。

消防団員FreeTalk掲  
示板も備え、消防団員同士の意  
見交換の場としても活用いた  
だいています。

また、兵庫県消防協会イメー  
ジキャラクター「消太くん」の  
イラストも公開していますので  
ご自由にお使いください。

まだまだ、修行不足のホーム  
ページですが、「消防団協力事  
業所表示制度」のページも新設  
し、今後ますますパワーアップ  
していく予定ですので皆様のご  
協力をお願いします。

なお、当ホームページに関す  
るお問い合わせは消防課までお  
願います。



## 「市民の期待に応える」

姫路市夢前町消防団長

栗林 忠道



夢前町消防団は、平成十八年三月二七日に姫路市と飾磨郡夢前町の合併により姫路市夢前町消防団として、栗林団長以下定員八〇〇人の体制で再スタートをきりました。

飾磨郡夢前町の時代には自治会ごとに三七分団を設置していましたが、姫路市夢前町消防団となったことによる「消防団分団再編整備事業計画」により、一小学校区一分団体制で七分団に再編になりました。再編は姫



再編計画に基づき完成した車両・車庫

路市と飾磨郡夢前町との合併と同時にではなく、車両と車庫は平成十九年度・二〇年度・二一年度の三カ年度で計画的に整備することとされ、平成十九年度中に三分団の車両と車庫の整備が完了しました。定員については平成二〇年四月一日に、一小学校区八〇人で、七小学校区の七分団で五六〇人体制になりました。

姫路市夢前町消防団としては、町政の中での消防団活動と市政の中での消防団活動には行政制度の違いにより戸惑いは有りました。

したが、基本的な消防団活動に違いは全く無く、また、消防団活動は今までの責任と市民の皆さんの期待がますます大きくなっていますので、地域住民の皆さんとの連携をより深めて、地域での防災のリーダーとして活動できるように、全団員が積極的に、恒例の消防操法大会・水防訓練・火災予防運動・年末警戒・出初式等の行事に参加しています。それ以外にも、「兵庫県消防学校への入校」・「消防団員応急手当指導員養成講習会の受講」・「新任、幹部教育訓練」・「事業所、消防署及び消防団の合同訓練」等の教育訓練に参加し、また「姫路市消防団協力事業所表示制度」の推進により、消防団活動がしやすい施策のバックアップを受けて、姫路市夢前町消防団としての消防団活動を、新体制の中でより充実したものとするために、頑張っています。

## 地区通信

## 「地域に広げる防災の輪」

## 相生市消防団

ドンデンジャン♪播磨路に初夏を告げる『音と光の祭典ペーロン祭』で親しまれている相生市は、兵庫県の南西部に位置し、北部は播磨科学公園都市に接し、南部は瀬戸内海国立公園に指定され、沖合には遥かに霞む島々などが見渡せます。

住民と一体となって防災活動を展開している相生市消防団第六分団の活動です。

平成二〇年五月四日(日)、ゴールデンウィークの真っ只中。好天にも恵まれ地区住民約三〇〇人が参加しての町民運動会が開催され、老若男女が、玉入れ、輪投げ、風船割り、ビン倒し、etc. の競技を楽しみました。プログラムの最後には消防団員指導による「防災コーナー」が設けられており、毎年この運動会の目玉となっています。昨

年までは、子供たちが興味を持ち楽しめるように「水消火器的当てゲーム」やビニールハウスに煙を充満させ通り抜ける「煙体験」、主婦の方にはいざという時に役立つ「天ぷら油消火体験」や「バケツリレー」などを行なってきましたが、今年も救急体験ということで「AEDの取扱い」について、体験しながら学んでいただきました。

ここに紹介させていただくのは、地域の運動会を通じて地域

も消防団員の白熱した実演とユーモラスな説明に、どんなものかと興味津々。次第に人の輪ができて、幾重にもなりました。ゲームを使って実際にAEDを体験する時には希望者が多すぎて人数制限をするまでになってしまいました。

こうして、運動会が大盛況のうちに終了し、最後に分団員が作った特製うどんを参加者が口いっぱいにはおぼり有意義で楽しい一日を過ごすことができました。

ここに紹介した第六分団の活動はほんの一例で、相生市消防団十五ヶ分団が創意工夫を凝らした防災活動を行い、それぞれの地域で防災の輪を広げています。これからも災害に強いまちづくりを目指すとともに、地域と連携した消防団活動を展開していきます。



参加者も興味津々

## 消防団今昔

49

## 「六〇年を振り返って」

元多紀郡今田町消防団長

溝畑 昭典



一九四八年から約三〇年間、旧多紀郡今田町消防団に在籍し、七一年から退団までの八年間、団長を務めました。

その当時は、火災が発生しても防火用の水源がなかったために、類焼を見たこともあり、国

と県の補助金を受けて、各集落に防火用水を作りました。

また、ポンプを個人の自動車に積んで現場に駆けつけていた時代、事故でも起こせば大変と、各分団にポンプ積載車を配備いたしました。二十数年前の話です。

火災はなんと言っても初期消火が重要なので、地元の消防団はとても大切な役割を果たしております。

今年の五月十五日、日本やアメリカ、中国など十一カ国の代表が参加して、東京都内で開かれていた、「消防団国際会議」は、各国で減り続ける消防団員の確保策として、「青少年消防組織の活性化や女性の参加を促

す」ことなどを盛り込んだ「東京宣言」を採択し閉会したと十六日付の新聞が報じておりしました。

また、宣言採択後、日本消防協会の片山虎之助会長が、四川大地震が起きた中国の李向華消防協会副会長に「一日も早い復旧を祈る」とした十カ国代表連名の見舞文を手渡したとも報じておりました。

災害はいつ何時起こるか分かりません。各地域によって色々な課題がありますが、互いに支え合い地域住民の財産、生命を守ることを第一に、頑張っていると思います。



ゲームを使って実際にAEDを体験

「煙体験」、主婦の方にはいざという時に役立つ「天ぷら油消火体験」や「バケツリレー」などを行なってきましたが、今年も救急体験ということで「AEDの取扱い」について、体験しながら学んでいただきました。

団員がゲームを相手に人工呼吸・心臓マッサージを始めると、最初は遠巻きに眺めていた参加者

世界へ羽ばたく!

GMの消防自動車



大槻ポンプ工業株式会社

●本社・営業本部

〒623-0021 京都府綾部市本町7丁目67-2

TEL (0773) 42-0681 (代)

FAX (0773) 42-9229



「日々努力邁進」

神戸市中央消防団

深井 勲 団長



神戸市中央消防団 深井勲団長をご紹介します。深井団長は、神戸の経済、商業の中心である三宮地区をほさんで、東西五キロメートル南北四キロメートルの地域を総勢一七〇名、十ヶ分団を率いるこの四月に就任したてはやの団長であります。団長としては新任ですがその消防団歴は長く、昭和三四年

十二月、中央消防団の前身である葦合消防団第三分団に入団、昭和五四年には分団長、平成八年副団長、そして本年四月団長となりました。これも五〇年近くの消防団生活の中で、団の発展だけでなく、地域の安心と信頼を得るため、日々努力邁進された結果であります。深井団長は、訓練はもちろんのこと、いざ出動要請があれば誰よりも早く現場に駆けつけ、豊富な経験と知識で若い団員を指導され、あたたかく見守り、団員を育ててくれました。また、今日の活躍は奥様の協力、ご家族の理解を得られたゆえにできたものでしょう。どうか、これからも十分健康に気を配られ、中央消防団が地域の安全と安心を守り、信頼さ

わがまちの団長さん

150

「地域と家族を愛する 団長さん」

神戸市東灘消防団

伊藤 繁夫 団長



神戸市東灘区は文字どおり神戸の東端に位置し、東は芦屋市と隣接しており、瀬戸内海国立公園内の六甲山脈を北側に配し、住吉川、石屋川と二本の清流が管内を南北に流れ、南側には瀬戸内海を埋め立てた工業地帯が広がり、更に海側には未来都市である六甲アイランドが広がっています。東灘消防団は、平成十九年四

月に消防署管轄区域の変更に伴い消防団管轄区域との整合を図るため、水上消防団第七分団が六甲アイランド分団として編入となり、現在は一〇分団一二四名（女性団員六名）が日夜地域の安全、安心のために伊藤団長を中心に頑張っております。伊藤団長は、昭和四五年に入団以来、持前の正義感と熱意で災害現場では常に先頭に立って活躍され、消防団業務に対する真摯な姿勢、卓越した指導力が認められて平成二〇年四月に消防団長に就任されました。ご家族は、奥様とお子さん二人の四人家族で、とても明るく和気あいあいとした家庭です。趣味は釣りや、公私ともお忙しいなか時間をみつけては出かけられ、心身のフレッシュを図っておられます。そんな団長ですが、いざ災害

れる団であり続けることができようこれからも団員一同へのご指導よろしく願います。



「地域を守る消防団」

三木市消防団

三木第四分団

小林 宣尊



私が消防団に入ったきっかけは、父親が三六年間消防団活動をしていて、子供の頃からずっと見ていたことが一番の影響で、火災や災害で連絡が入ると出動

していたことを今でも覚えています。その私が、父親の引退と同時に入団することになり、平成十七年四月に入団しました。新入団員としての教養訓練を受けるまでに火災出動があり、何も分からないうちに現場に行ったことを今でも鮮明に覚えています。また、私が所属する三木第四分団は、消防ポンプ車を有する機動分団で、管轄がとて広く大変だけれど、訓練を重ねて地域の方たちの役に立てたら良いなと思っています。入団二年目には、ポンプ車操法の選手に選ばれ、初めての経

われら若手消防団員

〈9〉

験で何も分からず、ビデオを見たり先輩たちから教えてもらったりしながら練習を重ねました。操法は、とても難しく、一つが出来ると一つを忘れる繰り返しで、慣れてくると、最初に出ていたところが雑になり、何度やっても上手くいかず、本当に一人前の選手になれるのか不安でしたが、なんとか三木市の代表として、北播磨地区操法大会に出場することが出来ました。操法訓練は、大変厳しいものでしたが、災害が発生した時には、団員が協力して素早く行動し、災害に迅速に対応するということを操法訓練を通して学び

ました。そういう意味でも操法訓練は、消防団員としての基本の訓練であり、必要不可欠なものであると私は思います。最近では、火災だけでなく、搜索活動などへの出動が増えていきます。地域の方たちとともに早朝から夜遅くまで行方不明者の搜索に当たりますが、無事発見されると本当に良かったと思います。消防団は、市町村にとってなくてはならない組織だと思っていますし、これからも団員が一致団結して、地域の方たちが安心して暮らせる町になるよう頑張っていきたいと思っています。

北から南から

「神戸市水上消防団」

神戸支部

神戸市水上消防団の管轄区域は、神戸市の沖に浮かぶ人工島「ポートアイランド」とその周辺の港湾地域です。一口に人工島と港湾地域といっても、コンテナを中心とした物流事業区域や中古車オークション会場、医療産業都市圏、四大学から成る学園都市圏、神戸空港、巨大ショッピングストア、そして人口一万人が住むポートアイランド住宅街から構成される街、それが水上消防団の管轄区域なのです。戦後間もない昭和二年、神戸港を囲む港湾地域に団員二〇〇名、消防艇十三隻から構成される水上消防団が発足しました。以来、日本を代表する港街「神戸」を防災面から支え、水上消

防団は歩んできました。平成十九年に管轄区域の変更に伴い組織を再編、定員一一〇名、消防業務協力艇九隻の態勢で日夜、港神戸の守りに就いています。水上消防団は一本部、四分団から構成されています。その中で、華やかな外国客船が係留される旅客ターミナルや、様々な輸出入製品がその配送の時を待つ倉庫群など、日本の中の「海外」といえる地域を管轄区域とするのが「新港分団」です。分団を構成するのはターミナルや保税上屋を警備する警備員や倉庫内で特殊なフォークリフトを操る作業員達です。この地域にも近年ホテルの建設計画が進んでおり、今後その様相

は大きく変わりそうです。消防業務協力艇九隻を抱える「メリケン分団」は神戸を代表するホテルや観光地域をその管内に抱えます。港湾物流の最前線の業務の一つである船舶の離着岸の業務に従事するタグボートの船員を中心に構成されています。現在の港湾物流の主流であるコンテナ関連の事業所より構成されるのが「みなと分団」です。高さ三五mを超えるガントリークレーン等特殊な車両を巧みに操る職人の集団です。現在当消防団に所属する女性団員も、広大なターミナル内を走行する多数の車両を的確に誘導・管制する業務に従事する職人の一人です。大学や事業所、空港職員から構成されるのが「港島分団」です。大学生の団員四名は、特に市民救命士の養成に多大な貢献を果たしており、今後は地域住民と消防団の絆を超えた活発な連携が予想されます。水上消防団の管轄区域は今後も大きな変革が予想されます。さらに、災害についてもこうした特殊な管内事情から様々な災害の発生が予想されます。団員が持つ知識・技能・装備、そして消防職員との連携を一層強くし、地域住民のため、そして港街「神戸」の発展に防災面から今後とも寄与していきたいと思っています。



水上消防団管轄区域



地 区 通 信

「安全の絆六〇周年推進大会」

尼崎市支部

尼崎市防火協会創設六〇周年、尼崎市消防団発足六〇周年、自治体消防発足六〇周年を迎えるにあたり、防火協会、消防団員、消防職員が婦人防火クラブ員などの自主防災組織の方々と一堂に集り、相互の絆を深めることにより、地域防災力向上の一助とするため、平成二〇年三月十六日(日)にアルカイックホール・オクトにおいて「安全の絆六〇周年大会」が開催されました。

尼崎市は、兵庫県の南東部に位置する扇状の都市で、伊丹洪積層がゆるやかな傾斜を描いて大阪湾に下る広大な三角洲に立地しています。

市域は、ほとんど起伏がなく平坦であり、約三分の一にあたる南部地域は、低地盤地域であるため、市内の河川は自然流下

が著しく制限され、古くから梅雨期の集中豪雨や、台風期の大

雨、高潮による河川の氾濫危険が内在しており、水害との戦いを余儀なくされてきました。

昭和二五年のジェーン台風では、死者二三人、負傷者二二八人、全壊三八九戸、半壊七、五

七八戸、床上浸水一八、六七九戸、床下浸水六、九五一戸など多くの尊い人命と財産を失う、甚大な被害を被りました。

市内に六消防団が誕生したのが、昭和二二年四月、ほぼ同時に兵庫県尼崎市防火協会が六

五社で結成され、自治体消防が昭和二三年三月に発足しました



安全の絆60周年推進大会

自治体消防発足当時は、職員数、一〇〇名足らず、ポンプ車一〇台と、人員、施設ともに乏しく、また、戦後の混乱と復興への躍動が交錯する激動の時代でありました。混沌とする時代の中で大災害に対して、先人達は、叡智と努力を結集し、多くの苦難を乗り越え、総延長二、四kmにおよぶ大防波堤をはじめ、護岸等の整備を最優先に進めてきました。

その結果、昭和三六年の第二室戸台風においては、大きな被害を免れることができました。

その後、高度経済成長期をへて、消防力が増強される一方で、社会情勢が変遷するなか、災害の様態も複雑多様化、大規模化の一途をたどることとなりました。

とりわけ、平成二年の十五人もの尊い命を奪った長崎屋火災、平成七年に未曾有の被害をもたらした阪神・淡路大震災、そして、平成十七年にはJ R福知山線列車事故と形態こそ異なれ、大規模な災害は後を絶たないといった状況にあります。

これらの事故や災害を乗り越えてこられたのは、先人達が築かれた防災体制と、ひとつひとつの経験を教訓とし、消防団や自主防災組織、防火協会などの連携による地域防災力が大きな力となったことは言うまでもありません。

更なる安全で安心して暮らせるまちづくりを推進していくためには、地域防災力を向上していくことが重要であります、このキーワードは、まさしく、家族・地域の「絆」ではないでしょうか。

今後も、地域における安全の絆を強固なものとし、防火・防災に取り組んでまいりたいと考え

編集後記

梅雨に入り、大分暑くなってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、今月号では兵庫県消防協会平成二〇年度理事会・代議員会、平成二〇年春の褒章及び兵庫県功労者表彰式について掲載しております。

また、消防団今昔には姫路市夢前町消防団団長栗林忠道さん、元多紀郡今田町消防団団長溝畑昭典さんより寄稿いただきました。厚くお礼申し上げます。

大雨など何かと気がかりな季節となりましたが、災害への備えを十分に、くれぐれも体調には気をつけてお過ごしください。



「こんにちは！兵庫の消防団です」



<http://www.hyogoshoubou.jp/>

吉谷式消防ポンプ自動車

営業品目

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 屈折梯子付消防ポンプ自動車 | 消防救助工作車       |
| 化学消防ポンプ自動車    | 小型ポンプ積載車      |
| 水槽付消防ポンプ自動車   | シバウラ小型動力消防ポンプ |
| 普通型消防ポンプ自動車   | 各種消防用品        |
| 高発泡機付消防自動車    | 消防用ホース        |



株式会社 吉谷機械製作所

本社・工場 鳥取市古海 3 5 6 の 1  
TEL (0857) 23-2211(代)  
FAX (0857) 27-1766

美と力を備えた  
新しいテクノロジーが  
社会と暮らしを守り続けます。

安心を科学する  
モリタです。

株式会社 モリタ

本社 〒544-0003 大阪市生野区小路東5丁目5番20号  
TEL06(6756)0119 FAX06(6754)3473  
東京・大阪・名古屋・仙台・福岡・富山・松山



消 防 団 服

- |     |                   |
|-----|-------------------|
| 甲 種 | 日毛・帝人・東レ団服・作業服・制帽 |
| 乙 種 | 刺子・木綿             |

ハッピー・ズボン・腹掛・革バンド

附属品一式

キンバイホース 兵庫県特約店

株式会社

三 浦 消 防

姫路市竜野町 1 丁目 1 番 地  
電話 (姫路) 9 2 - 0 4 4 7  
(0792) 9 8 - 8 6 6 3

- ・操法最適ホース : コンペVシリーズ
- ・小型動力ポンプ : ラビットダイヤモンドフジシリーズ
- ・小型動力ポンプ積載車(標準型・全自動型)
- ・消防ポンプ自動車(モリタ)
- ・消防用資機材全般



西垣消防器具製作所

669-5213 兵庫県朝来市和田山町玉置461

TEL:(079)672-3131

FAX:(079)672-3132

E-mail: fp-nishigaki@eagle.ocn.ne.jp

